

一般質問

イベント予算には 一定のルール づくりを



廣瀬 擁 議員

観光開発について

質問 度重なる災害により、佐渡観光も70万人を割る観光客数の今日である。抜本的見直しが必要と考えるが観光資源開発発室の具体的内容は、

市長 佐渡の文化や食べ物、

未開発の気がつかなかったものなど、たくさんある中から新たな佐渡観光に向くものを見出し、観光に陽の目を当てる意味もある。

質問 相川地区、二見地区には古民家がいっぱいあるが、それを核にした観光ルートの

開発計画について問う。

市長 町屋の魅力は人々の生活のたたずまい、歴史文化の積み重ねを表現したものであり、訪れる人に安らぎを与え、文化に触れる場でもある。住民が参画してのことなら、応援していきたい。

TMO策定について

質問 両津地区市街地再開発事業の基本計画とTMO計画の策定事業等の実施とある。

また、真野地区にはポケットパーク・道路・駐車場整備とあるが、この事業の目指す具体的内容は、

市長 市民と来訪者の交流の場の創造、地域の文化・歴

史・伝統を生かした佐渡の玄関にふさわしい湊地区の再開発にもつながるものである。

真野支所長

住民主体のゆっくりくつろげる、癒し空間づくり、路地を整備して楽しい街づくり（散策路）を目指し真野のアイデンティティーを高めるものである。

質問 実施後の佐渡市及び支所が補助金以外に支援することは何か。

市長 短期、中・長期的に考えそれぞれに適切な対応が必要だ。おもてなしの心の研修を継続的にすることも一つである。

イベント予算編成について

質問 合併以前の旧市町村の算出方法のまま商工及び観光事業（イベント）予算がつき、市民にとって平等ではないにもかかわらず精査がないが。

市長 中越地震のあと、地

域に元気をつける意味もあるので昨年同等の措置をした。

質問 定例会毎に、市の不平等予算編成について指摘している。市として一定のルールづくりが必要と考えるが。

観光課長 地震後の風評被害対策もあり、各地域から上がったものに目を通したが、私の責任である。

質問 一個人や特定の企画のイベントが、自己負担がなく、補助金のみで予算要求があるが。

市長 それぞれの事業なりに佐渡市に大きなインパクトを与えているイベントであると感じている。費用対効果も精査する必要があるかもしれない。



「平入りはね出し造り」の珍しい二見の民家

